

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条第 1 項に基づく
教育に関する事務の点検及び評価報告書

平成 21 年 11 月
成田市教育委員会

施策の基本目標

1. 学校教育の推進

教育を取り巻く環境が大きく変化しつつある中で、いつの時代においても子どもたちが未来への夢や希望を抱き、心身ともに健やかに成長し、多様な可能性を伸ばしていく教育環境を築くことが重要です。

このため学校教育においては、平成 18 年 12 月の教育基本法の改正及び、平成 19 年 6 月の学校教育法の改正に基づき、子どもたちの「確かな学力」や「豊かな心」などの「生きる力」の育成を目指して、それぞれの学校や地域での創意工夫を活かした特色ある教育活動を展開します。

2. 生涯学習の推進

国際化や情報化が進む現代社会では、「こころ」と「こころ」を結ぶコミュニケーションづくりを充実することが求められており、「人のつながり」を大切にした市民生活が重要となります。

市民が互いに助け合いながら学んでいくとともに、世界の人々に誇れるような個性と広い視野を備え、社会情勢の変化に対応し自立して生きていける「国際市民」に自らなっていくこと、また、次世代を担う青少年を「国際市民」とするべく育てていくことを目指して各種施策の推進に努めます。

基本目標を実現するために、次の三つの柱を基本施策とし、個別事業を推進するうえでの指標とします。

施策の体系

柱1 成田の個性を活かした国際交流・地域文化の発展を図る

成田の国際性や伝統文化といった、成田の個性を活かした教育を推進します。また教育を通じた各種交流を推進します。

柱2 子どもも大人もともに学び育つ教育を推進する

学校・家庭・地域が一体となった教育を推進し、子どもから大人までともに学び、成長していく教育を推進します。また、自ら学び考え行動するための「確かな学力」と「豊かな心」を育むための教育を推進します。

柱3 生涯を通して学びスポーツができる環境づくりを推進する

市民が生涯を通して学び、スポーツ活動を行える環境づくりや学習成果が発表でき、地域の活性化につながる環境づくりを推進します。

柱1 成田の個性を活かした国際交流・地域文化の発展を図る

施策の方向

- ・ 英語教育及び国際理解教育の推進
- ・ 市の資源を活用した多様な方法による国際交流の推進
- ・ 海外帰国児童生徒や在住外国人に対する教育と交流の推進
- ・ 歴史や伝統文化に学ぶ
- ・ 文化財や伝統文化の保存継承

総合評価	B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
評価所見	<p>英語教育及び国際理解教育の推進が成田市の大きな命題と考えると、全小中学校のレベルアップを図る必要がある。子ども達一人ひとりの英語による実践的コミュニケーション能力の基礎の育成を図る点については評価できるが、英語教育に対する教員の指導力向上を視野に入れ教員研修を行い、子ども達のコミュニケーション能力がより質の高いものとなるようにしてほしい。また、英語教育の成果が実際にどれほどあるのか、うまく表す方法を研究してほしい。</p> <p>他の事業でも言えることだが、国際こども絵画交流展開催事業等、例年同じような内容の事業については、運営の仕方等を精査する時期に来ているのではないかと思う。国際都市成田として必要な事業でもあり、事業内容のより一層の充実に向けた検討をしてほしい。</p> <p>分散し保存している文化財の良好な管理を図るとともに、活用策についても検討してほしい。</p>

- 評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる
 B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
 C 課題が生じ目標達成は困難である

個別事業

事業名	中学校外国人英語講師派遣事業	担当課	教育指導課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	
	8,460千円	8,708千円	今年度予算額 0千円
評価年度 事業内容	<p>下総・大栄の各中学校に外国人英語講師を1名ずつ配置し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語授業等の補助 ・英語教材作成及び補助並びに英語発表会等への協力 ・授業指導案の作成及び補助 ・市内英語科教諭及び小学校教諭に対する研修への協力 等を行う。 		
評価指標①	外国人英語講師数	2人（前年度2人）	
評価指標②	授業を受けた生徒数	555人（前年度589人）	
評価結果及び 今後の方向性	※英語科研究開発事業に組み込むため、平成20年度で本事業は廃止となる。		

事業名	英語科研究開発事業	担当課	教育指導課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	
	117,426千円	145,235千円	今年度予算額 155,025千円
評価年度 事業内容	<p>引き続き、特区の特例措置を適用し、市内30小学校で英語科を設置し、20分または45分の英語科授業を週3回実施する。成田地区7中学校において英語科総授業時数を拡充し、実践的コミュニケーション能力の基礎の育成を図る。また、成田小・成田中学校において、引き続き教育課程の研究開発を行う。</p>		
評価指標①	外国人英語講師数	53人（前年度42人）	
評価指標②	授業を受けた児童生徒数	9,373人（前年度7,794人）	
評価結果及び 今後の方向性	<p>成田市が国より認定された「国際教育推進特区」の特例措置を適用する特区研究開発学校の拡大に伴い、本事業における外国人英語講師に係る予算は増加している。</p> <p>※内閣府の事業である「特区」は、平成20年度からは文部科学省に移管され、文部科学大臣の指定による「教育課程特例校」として継続する。</p>		

事業名	国際こども絵画交流展開催事業		担当課	生涯学習課
事業費	前年度決算額	20年度決算額		今年度予算額
	4,620千円	4,620千円		4,620千円
評価年度 事業内容	<p>市内の小中学生からの作品 3,428 点、海外から 29 カ国 1,546 点の参加があり、そのうち 1,124 点を展示。11 月 3 日には会場となる成田山新勝寺大本堂第二講堂で表彰式を行い、特別賞を受賞した 20 名を表彰した。</p> <p>市内学校・公共施設等への巡回展示を開催するとともに、ホームページに新しい応募作品を掲載した。また、図録を作成し、市内・海外応募学校へ配布するなどにより、より高いレベルの作品出展を促した。</p>			
評価指標①	開催日数		延べ 16 日（前年度 16 日）	
評価指標②	入場者数		5,607 人（前年度 4,567 人）	
評価結果及び 今後の方向性	<p>英語版ホームページを広く世界に紹介するとともに、作成した図録の有効活用について検討したい。友好都市において展示会を実施する等、過去の作品を活用し、海外と交流の輪を広げていきたい。様々な国の子どもたちが描いた絵画にふれることにより、よりレベルの高い活動の推進をめざす。</p>			

事業名	日本語教育補助員配置事業		担当課	教育指導課
事業費	前年度決算額	20年度決算額		今年度予算額
	6,942千円	7,920千円		8,374千円
評価年度 事業内容	<p>外国人児童生徒に対する取り出しによる日本語指導、保護者に対しての通知文の翻訳等のため、日本語教育補助員 10 名を 8 小学校、2 中学校へ配置した。</p>			
評価指標①	日本語教育補助員配置人数		10 名（前年度 10 名）	
評価指標②	補助員の指導児童生徒数		68 人（前年度 55 人）	
評価結果及び 今後の方向性	<p>毎年増加する外国人児童生徒に適切な日本語指導をすると共に、その保護者が学校教育への理解を深めるために必要な事業である。今後は、日本語教育補助員配置校以外の外国人児童生徒への対応を検討していきたい。</p>			

事業名	市史編さん事業		担当課	図書館
事業費	前年度決算額	20年度決算額		今年度予算額
	5,812千円	5,548千円		9,431千円
評価年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）『大字別地域の事典』の刊行に向け調査を実施し、19 年度の構成案の検討に続き、項目及び図版の検討をした。 ・市史研究 33 号を発行した。 			
評価指標①	市史研究冊子の作成		1（前年度 1）	
評価指標②	市史研究配布・頒布数		505 冊（前年度 459 冊）	
評価結果及び 今後の方向性	<p>啓発や普及のためにも「成田市史研究」の発行を継続し、市史講座等も引き続き実施する。なお、今後は市民の活用を拡大すると共に利用状況を把握する必要がある。</p>			

事業名	文化財保存展示施設整備事業	担当課	生涯学習課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	
	0千円	3,675千円	今年度予算額 0千円
評価年度 事業内容	市の文化財（考古資料・民俗資料・古文書等）についての、保存展示施設を建設するため、基本構想の策定を実施した。		
評価指標①	延べ委託料総額	3,675千円（前年度0千円）	
評価結果及び 今後の方向性	文化財を通して成田の歴史や文化を学習することの出来る施設を建設・整備することは必要であり、その基本構想を策定したが、文化会館の建て替えや学校の統廃合等、本事業を取り巻く状況の著しい変化が生じているため、既設の施設の利用を含めて改めて今後の方針を検討した上で本事業を進めていく。		

その他の事業

- ・ 国際交流フェスティバル開催事業（生涯学習課）
- ・ 史跡めぐり・歴史講演会等開催事業（生涯学習課）
- ・ 三里塚御料牧場記念館管理運営事業（生涯学習課）
- ・ 文化財保護・保存事業（生涯学習課）
- ・ 指定文化財管理事業（生涯学習課）
- ・ 下総歴史民俗資料館管理運営事業（生涯学習課）

ほか

柱2 子どもも大人もともに学び育つ教育を推進する

施策の方向

- ・ 学校・家庭・地域が一体となった教育体制の充実
- ・ 各小中学校の特性を活かした教育の充実
- ・ 青少年の健全育成
- ・ 義務教育における教育内容の充実
- ・ 教育施設の改善と地域への開放
- ・ 義務教育における教育環境の整備
- ・ 健やかな心と体づくり
- ・ 学校規模の適正化及び通学区域の弾力化
- ・ 高等学校や大学などとの連携強化

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>子ども達の個性を生かす教育を推進していくためには、今後も優秀な推進教員を配置していく必要がある。</p> <p>また、特別な支援を必要とする子ども達への支援員配置や、各種教育相談の充実等、近年、各学校が抱える諸問題への対策は今後も重要と考えられる。</p> <p>子ども達にとってのより良い教育環境を整えるために、学校適正配置の実現に向け取り組んでほしい。</p> <p>学校施設の耐震化率については国や県の平均よりも高く概ね評価できるが、早急な対応が望ましい。また、地域コミュニティの拠点としてバリアフリー化を順次進めてほしい。</p> <p>給食費の滞納問題については抜本的な対策に期待したい。保護者が給食の意義や、その重要性について認識を深めるための方策を研究してみてもどうか。</p>

- 評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる
 B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
 C 課題が生じ目標達成は困難である

個別事業

事業名	特色ある学校づくり事業		担当課	教育指導課
事業費	前年度決算額	20年度決算額		今年度予算額
	14,254千円	14,279千円		14,250千円
評価年度 事業内容	<p>地域や学校の実態に応じ、校長のリーダーシップを基に自主性・自律性を高め、特色ある学校づくりを進めた。</p> <p>児童生徒の生きる力をはぐくむために、各学校に研究委託を行った。</p> <p>学校予算の活用と効果に関する調査研究を行った。</p>			
評価指標①	学校数	41校（前年度41校）		
評価指標②	事業数	195事業（前年度194事業）		
評価結果及び 今後の方向性	<p>学校長のリーダーシップが発揮され、各学校の特色ある教育を推進していく上で、需要の高い事業である。</p> <p>各学校とも、本事業に対するより効果的な予算執行が遂行されるように指導助言する。</p>			

事業名	家庭教育学級開催事業		担当課	生涯学習課
事業費	前年度決算額	20年度決算額		今年度予算額
	6,481千円	7,774千円		9,282千円
評価年度 事業内容	<p>平成20年度から市内20の保育園を加え、全71学級（保20、幼10、小31、中10）で開設。</p> <p>幼児期147回（延べ5,450名）小学校212回（延べ4,464名）中学校68回（延べ1,463名）の参加実績。7月13日にPTAとの共催で、森野熊八氏を講師にむかえ講演会を開催。（参加者171名）2月13日に大栄公民館会場で家庭教育学級合同閉級式にて長谷川幸介氏を講師とする「家庭教育講演会」を開催。（参加者245名）</p>			
評価指標①	総実施回数	427回（前年度345回）		
評価指標②	延べ参加人数	11,377人（前年度8,202人）		
評価結果及び 今後の方向性	<p>家庭教育学級が、家庭の教育力向上のための支援、援助となるよう内容等についてより一層工夫していく。重点課題として「読書」「環境」「食育」を取り入れるよう奨励し、プログラム等の改善を図る。</p> <p>家庭教育学級へ父親の参加を呼びかけるとともに、学習の中で基本的な生活習慣を身につけさせることの大切さを啓発するようにする。</p>			

事業名	放課後子ども教室推進事業		担当課	生涯学習課
事業費	前年度決算額	20 年度決算額		今年度予算額
	285 千円	1,986 千円		3,555 千円
評価年度 事業内容	平成 20 年度より市内 2 箇所（豊住小、中郷小）で実施。週 1 回毎週木曜日に開催。年間 30 回程度実施。中郷小学校では 46 名中 44 名が登録し、豊住小学校は 81 名中 48 名が登録している。			
評価指標①	運営委員会開催回数		6 回（前年度 6 回）	
評価指標②	参加人数		50 名（前年度 57 名）	
評価結果及び 今後の方向性	現在 2 校の小学校区（豊住小、中郷小）で実施している。児童ホームのない地域からさらに広めていきたい。新規に広げていく場合、コーディネーターの人選をどうするか、また、学校の協力を得られるか等の確認をする必要がある。アドバイザーについては運営委員会で共通理解し、実施地区へ人材の紹介をしていきたい。			

事業名	学力調査事業		担当課	教育指導課
事業費	前年度決算額	20 年度決算額		今年度予算額
	8,604 千円	8,666 千円		9,219 千円
評価年度 事業内容	標準学力検査は、小学生 6,560 名、中学生 2,921 名が検査に参加した。各校が学力を分析し報告集を作成した。報告集を参考に指導計画を作成し、学習指導に活かすことができている。			
評価指標①	参加児童生徒数		9,481 人（前年度 9,406 人）	
評価指標②	児童生徒の学力把握		41 校（前年度 41 校）	
評価結果及び 今後の方向性	児童生徒全員に学力調査を行うことにより、学力向上、学習状況を把握することができ、この結果を踏まえて、状況に応じた学習計画を立案するため必要な事業である。一人ひとりのニーズに合わせた学習計画を立案するためにも維持継続が望ましい。			

事業名	個性を生かす教育推進事業		担当課	学務課
事業費	前年度決算額	20年度決算額		今年度予算額
	150,478千円	144,422千円		149,724千円
評価年度 事業内容	<p>推進教員の配置により、ティームティーチングや習熟度別学習等、指導形態や指導方法を工夫しながら、児童生徒の興味・関心に応じた授業展開に努めた。児童生徒の実態に応じた学習支援を行い、発展的な学習・補充的な学習なども取り入れていくとともに、中学校における選択履修の充実を図り、個に応じた指導を推進した。</p> <p>(成田市少人数学習推進教員数 小学校 23人、中学校 17人)</p>			
評価指標①	授業日数		219日(前年度 214日)	
評価指標②	推進教員授業受け持ち学級数		219学級(前年度 285学級)	
評価結果及び 今後の方向性	<p>少人数学習推進教員を配置した効果について、市内の小中学校において調査を実施した結果、少人数指導の実施は児童生徒個々の学力を伸ばすことに効果があることが実証された。</p> <p>引き続き、本事業により、学校においてより良い成果があげられるよう、学校訪問や様々な場面を通して校内の体制づくりに働きかけていく。</p>			

事業名	特別支援教育支援員配置事業		担当課	教育指導課
事業費	前年度決算額	20年度決算額		今年度予算額
	0千円	25,386千円		28,108千円
評価年度 事業内容	<p>学校教育法の改正により、小中学校等に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒等に対して、障害による困難を克服するための教育を行うことが明確に位置付けられ、文部科学省より特別支援教育支援員の配置充実が求められている。</p> <p>市内小中学校の通常学級に在籍する、肢体不自由や発達障害のある児童生徒へ個々の障害の状況に応じて、移動や排泄などの学校教育活動上の日常生活の介助や情緒の安定や安全の確保、学習の個別支援等に直接対応する学習活動上のサポートを行う。</p>			
評価指標①	支援員配置校数		10校(前年度なし)	
評価指標②	支援対象児童生徒数		70人(前年度なし)	
評価結果及び 今後の方向性	<p>現在支援員を配置している学校では大きな成果をあげているが、実態調査の結果から見ると、ニーズへの対応は不十分である。支援員が未配置校で、支援を必要とする児童生徒が5名以上いる4校に対しては、今後配置を検討していきたい。</p>			

事業名	小中学校施設維持整備事業	担当課	学校施設課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	今年度予算額
	199,155 千円	169,133 千円	161,240 千円
評価年度 事業内容	平成・吾妻・玉造小学校放送設備改修工事、本城小学校多目的スペース改造工事、橋賀台小学校体育倉庫外壁改修工事、中台中学校防球ネット設置工事、大栄中学校駐輪場柱脚補強工事、西中学校プール改修工事、久住中学校地上デジタル放送化対応工事、成田中学校普通教室照明器具改修工事等を実施した。		
評価指標①	工事件数	146 件（前年度 124 件）	
評価結果及び 今後の方向性	危険度・老朽化の著しい施設から順次改修を進めると共に、変化する教育現場・生活様式に対応した改造を実施する。		

事業名	小学校校舎耐震補強事業	担当課	学校施設課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	今年度予算額
	12,283 千円	149,304 千円	51,100 千円
評価年度 事業内容	成田小学校渡り廊下・配膳室改築工事、成田小学校便所棟耐震補強工事及び三里塚小学校(既存棟)耐震補強設計を実施した。		
評価指標①	耐震補強設計棟数	1 棟（前年度 4 棟）	
評価指標②	耐震補強工事棟数	3 棟（前年度 0 棟）	
評価指標③	耐震化率	92%（前年度 87%）	
評価結果及び 今後の方向性	多くの児童等が一日の大半を過ごす学習、生活等の場であり、その安全性の確保は極めて重要であることから、国・県並びに地域住民からも早期実現が求められている。構造耐震指標の数値の低い順に、補強工事を進めていく。		

事業名	小中学校屋内運動場耐震補強事業	担当課	学校施設課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	今年度予算額
	122,168 千円	55,459 千円	142,600 千円
評価年度 事業内容	久住第一・中郷小学校屋内運動場耐震補強工事、川上小学校屋内運動場耐震補強設計を実施した。		
評価指標①	耐震補強設計棟数	1 棟（前年度 3 棟）	
評価指標②	耐震補強工事棟数	2 棟（前年度 1 棟）	
評価指標③	耐震化率	64%（前年度 58%）	
評価結果及び 今後の方向性	児童生徒の活動の場としてはもとより、災害時の避難施設としても重要である。早期に整備を図っていく。		

事業名	小学校仮設校舎整備事業	担当課	学校施設課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	今年度予算額
	11,614千円	17,265千円	26,456千円
評価年度 事業内容	平成小学校にて6教室を借り上げ。公津の杜小学校に4教室を建設、借り上げた。		
評価指標①	借上げ件数	2件（前年度1件）	
評価指標②	稼働率	100%（前年度100%）	
評価結果及び 今後の方向性	学区内の児童数の増加に加えて、少人数学習・習熟度別指導への対応に伴い、教室不足が生じているため、学校適正配置の見直しによって今後の施設整備に関する方向性が決定するまでの間、仮設校舎を借り上げて必要な教室を確保した。		

事業名	中学校バリアフリー整備事業	担当課	学校施設課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	今年度予算額
	3,788千円	34,351千円	0千円
評価年度 事業内容	成田中学校にエレベーター（11人乗り）、昇降口にスロープを設置。西中学校にエレベーター（11人乗り）を設置。		
評価指標①	多目的便所整備数	0箇所（前年度1箇所）	
評価指標②	エレベーター整備数	2基（前年度0基）	
評価結果及び 今後の方向性	身障児等の学習環境を改善するほか、地域コミュニティーの拠点として、学校施設のバリアフリー化を図る必要がある。各校と協議のうえ、順次整備を進めたい。		

事業名	教育支援センター運営事業	担当課	教育指導課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	今年度予算額
	10,405千円	11,342千円	11,373千円
評価年度 事業内容	不登校児童生徒の学校復帰を目的に、カウンセリング、教科指導、学校との連絡会、保護者会の開催等を行った。		
評価指標①	指導員数	7名（前年度7名）	
評価指標②	通所人数	20人（前年度27人）	
評価結果及び 今後の方向性	不登校児童生徒が、学校復帰したり、学校への登校日数が増えたりするなど、成果が挙げられている。 不登校児童生徒が増加している中、学校復帰を目指す教育支援センターは、今後も必要不可欠である。		

事業名	教育センター運営事業	担当課	教育指導課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	今年度予算額
	61,521千円	53,205千円	57,434千円
評価年度 事業内容	1. 教職員研修事業 32回、延べ1,152名参加 2. 教育相談事業 相談件数299回 3. 学校支援ボランティア活用事業 延べ823回1,975名 4. 情報教育推進事業 ヘルプデスク相談件数134回、学校訪問111回 5. 特別支援教育推進事業 指導員学校訪問件数450件		
評価指標①	研修実施回数	32回（前年度34回）	
評価指標②	参加者数	1,152人（前年度1,612人）	
評価結果及び 今後の方向性	教育課題が山積する中、児童生徒の生きる力を育てていくには、教職員一人一人の資質向上が不可欠である。そのために、今後も研修内容を精選しつつ今日の教育課題等に対応するための研修事業をより充実させる必要がある。また、教育相談については、不登校、いじめ、問題行動等が増加する中で、相談件数も増加し、内容も複雑・長期化する傾向にある。このようななかで、専門家による相談活動は大変有効であり、今後も事業の維持継続が必要不可欠である。		

事業名	小規模学校支援教員配置事業	担当課	学務課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	今年度予算額
	0千円	6,204千円	12,620千円
評価年度 事業内容	複式学級が2学級以上生じる学校に、市で臨時職員を雇用し配置することにより、各学年に応じたきめ細やかな学習を推進するとともに、小規模学校の学校運営の円滑化が図れるように支援する。		
評価指標①	授業日数	219日（前年度なし）	
評価指標②	授業受け持ちクラス数	2クラス（前年度なし）	
評価結果及び 今後の方向性	小規模校の特性を生かしながら、各学年に応じたきめ細かな支援を行うことができた。2複式学級が生じる学校には今後とも配置し、支援していきたい。市内の地域格差をなくすためにも、本事業は必要不可欠である。		

事業名	小中学校就学援助費支給事業	担当課	学務課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	今年度予算額
	32,264千円	38,001千円	38,538千円
評価年度 事業内容	経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に学用品費等及び学校給食費を支給した。		
評価指標①	申請件数	573件（前年度485件）	
評価指標②	認定児童生徒数	561人（前年度481人）	
評価結果及び 今後の方向性	文部科学省からの要保護及び準要保護者に係る補助事業の適切なる実施の通知を受けて行われているもので、本制度の周知を一層図りながら、今後も継続していく必要があると思われる。		

事業名	問題を抱える子ども等の自立支援事業		担当課	教育指導課
事業費	前年度決算額	20 年度決算額		今年度予算額
	2,300 千円	2,580 千円		2,936 千円
評価年度 事業内容	拠点となる小学校 5 校に教育相談員を配置し、児童、保護者及び教職員への相談活動を行う。 ・平成 20 年度延べ相談件数 1,509 件（20 年 4 月～21 年 3 月） ※事業は平成 19 年 9 月より開始。			
評価指標①	拠点校数		5 校（前年度 5 校）	
評価指標②	延べ相談件数		1,509 件（前年度 764 件）	
評価結果及び 今後の方向性	小学校でも様々な課題を持つ児童及び保護者は多く見られ需要も多いことから、教育相談員による相談は今後も重要と考えられる。現在未設置校については拠点校で対応しているが、早期発見早期対応の観点からも配置校を増やしていく必要がある。			

事業名	学校給食事業		担当課	学校給食センター
事業費	前年度決算額	20 年度決算額		今年度予算額
	869,346 千円	908,606 千円		936,495 千円
評価年度 事業内容	市立小中学校 41 校（小学校 31 校 中学校 10 校）及び幼稚園 1 園の児童生徒に対し給食を提供した。 年間給食日数：本所・玉造分所 194 日 下総分所 194 日 大栄分所 194 日			
評価指標①	年間給食日数（本所）		194 日（前年度 195 日）	
評価指標②	年間給食日数（下総・大栄分所）		194 日（前年度 190 日）	
評価指標③	年間給食数		2,039,498 食（前年度 2,026,088 食）	
評価結果及び 今後の方向性	成長期にある児童生徒の健康の増進、体位の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事のあり方、望ましい食習慣を身につける等、食育の推進においても大変重要な事業である。			

事業名	学校適正配置検討事業		担当課	教育総務課
事業費	前年度決算額	20 年度決算額		今年度予算額
	4,950 千円	0 千円		0 千円
評価年度 事業内容	学校教育をとりまく環境が大きく変化し、学校規模の格差が拡大してきたことを受け、市内全域の学校適正配置を再検討し、新たな方針を定めた。 各地区・学区での保護者・住民説明会を実施し協議した結果、豊住中学校と成田中学校の統合が実現した。			
評価指標①	説明会開催数		32 回（前年度 1 回）	
評価指標②	統廃合・増改築・学区調整実施数		1 校（前年度なし）	
評価結果及び 今後の方向性	今後も各地区・学区での保護者・住民説明会を実施し、学校適正配置の実現に向けて、対象学区・地区との協議を進めていく。			

その他の事業

- ・ 青少年健全育成事業（生涯学習課）
- ・ 子どもの居場所づくり推進事業（生涯学習課）
- ・ 子どもセンター運営事業（生涯学習課）
- ・ 小中学校教育用コンピュータ整備事業（教育総務課）
- ・ 小中学校校内 LAN 整備事業（教育総務課）
- ・ 小中学校大規模改造事業（学校施設課）
- ・ 児童生徒遠距離通学費補助事業（教育指導課）
- ・ 思春期の児童生徒の悩みに対する支援事業（教育指導課）
- ・ 教育資金利子補給事業（教育総務課）
- ・ 高等学校等開放講座開催事業（生涯学習課）

ほか

柱3 生涯を通して学びスポーツができる環境づくりを推進する

施策の方向

- ・ 生涯学習内容の充実
- ・ 文化芸術活動の推進
- ・ 生涯学習活動に関する支援
- ・ 生涯学習施設の充実
- ・ 生涯学習の推進体制づくり
- ・ 地域に根ざしたスポーツ活動の促進
- ・ スポーツを通じた交流の促進
- ・ スポーツ活動の基盤の充実

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>生涯学習については、生涯大学院等で学んだ人達が、その後地域への活用ができるような仕組みづくりまで考えてほしい。</p> <p>市民のスポーツ活動や、健康づくり、市民相互の親睦や交流を図るため、市民誰もが利用できる多目的広場や、大栄地区の野球場等の整備が進められている。これらの施設について完成後の有効活用に努めてほしい。</p> <p>公民館の講座教室は市民のニーズに合わせたものが開催されているが、中には参加者の少ない講座も見受けられるので内容をよく精査し、更に充実させてもらいたい。</p> <p>試行ではあるものの、図書館の祝日開館が実施されたことは評価できる。更に利便性を高めるべく分館との連携も一層強化してほしい。</p>

評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる

B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる

C 課題が生じ目標達成は困難である

個別事業

事業名	生涯大学院運営事業		担当課	生涯学習課
事業費	前年度決算額	20年度決算額		今年度予算額
	3,642千円	4,185千円		5,631千円
評価年度 事業内容	<p>60歳以上の人を対象に、年間40回程度の講座を3年間実施。1年生75名、2年生69名、3年生50名。</p> <p>教養講座25回程度×3学年（計5クラス）（歴史・健康・環境・移動教室等） 専門講座15回程度×4講座（園芸・陶芸・書道・油絵） その他課外活動（学園祭・グラウンドゴルフ・広報紙の編集等）</p>			
評価指標①	当該年度入学者数		79名（前年度77名）	
評価指標②	当該年度卒業生数		50名（前年度45名）	
評価結果及び 今後の方向性	<p>高齢者が健康で文化的な生活を送ることが出来るようなサービスを提供し、高齢者の新たなコミュニティーの中心となるよう、継続したサービスを提供していかなければならないと考える。また、団塊の世代が定年を迎えるにあたって、より一層の入学希望者の増加が見込まれるが、新校舎に移り利便性の向上や入学定員倍増などのサービス向上にあたっている。</p>			

事業名	明治大学・成田社会人大学運営事業		担当課	生涯学習課
事業費	前年度決算額	20年度決算額		今年度予算額
	5,538千円	5,619千円		6,175千円
評価年度 事業内容	<p>国際的な諸問題などを学ぶ「国際社会課程」、国内・地域の諸問題などを学ぶ「地域社会課程」、身の回りの植物・農作物や環境の諸問題などを学ぶ「緑地環境課程」の3講座で、基本的に5月から11月までの期間の10回連続講座になっている。</p> <p>受講者数 243人 修了者 203人</p>			
評価指標①	講座数		31講座（前年度32講座）	
評価指標②	受講生数		243人（前年度209人）	
評価結果及び 今後の方向性	<p>市民のニーズに合わせ学習内容や学習形態を充実させるとともに、応募者全員が受講できることを目指した工夫をする。</p>			

事業名	公民館講座教室等開催事業		担当課	公民館
事業費	前年度決算額	20年度決算額		今年度予算額
	2,827千円	3,174千円		3,805千円
評価年度 事業内容	<p>地域の特色を考慮しながら、こどもから高齢者までを対象とし、生涯学習のねらいを達成すべく積極的に講座・教室、体験学習等を開催した。</p> <p>講座 74事業 教室回数 383回 受講者数 2,219人（受講者延べ人数 5,652人）</p>			
評価指標①	講座・教室開催回数		383回（前年度 394回）	
評価指標②	受講者数		2,219人（前年度 2,174人）	
評価結果及び 今後の方向性	公民館事業の中で中心となる事業であり、隣接の市町村と同程度の事業を実施していることから維持継続とする。			

事業名	図書購入事業		担当課	図書館
事業費	前年度決算額	20年度決算額		今年度予算額
	100,664千円	97,499千円		97,669千円
評価年度 事業内容	<p>社会の要求に適合した資料の整備に努めるとともに、生涯学習施設としての役割を果たす資料を提供した。</p> <p>図書（48,047冊）、雑誌（484種）、新聞（33紙）、追録（7誌）、視聴覚資料（1,128点）、マイクロフィルム（91リール）</p>			
評価指標①	図書購入数		48,047冊（前年度 51,127冊）	
評価指標②	蔵書数		811,877冊（前年度 799,979冊）	
評価結果及び 今後の方向性	20年度の市民一人あたりの蔵書冊数は6.5冊、市民一人あたりの貸出冊数は10.0冊である。多くの市民に利用され、市民ニーズが高い。今後も、市民・社会の要求に適合した資料の収集・整備に努める。また、仮称公津の杜複合施設が建設され、蔵書も増えることによって、資料費の増大が見込まれる。			

事業名	図書館事業		担当課	図書館
事業費	前年度決算額	20年度決算額		今年度予算額
	92,145千円	99,194千円		104,788千円
評価年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料の管理及び貸出サービス ・開館日数の増加 ・インターネット予約サービスの拡大 ・子どもの読書活動推進事業 ・図書館講座の実施 			
評価指標①	図書貸出冊数		1,248,021冊（前年度 1,301,293冊）	
評価指標②	図書館利用者数		319,562人（前年度 307,686人）	
評価結果及び 今後の方向性	図書館が地域を支える情報拠点となるよう、住民の生活、仕事、行政、学校、産業など各分野の課題解決を支援する相談・情報提供の機能を一層強化するとともに、子どもの読書活動推進のための様々な事業を今後も継続していく必要がある。			

事業名	公民館施設維持管理事業		担当課	公民館
事業費	前年度決算額	20 年度決算額		今年度予算額
	299,094 千円	194,785 千円		219,557 千円
評価年度 事業内容	公民館 13 館の維持管理 ・成田公民館空調用冷温水管改修工事等 7,159,950 円 ・施設修繕 111 件 15,074,525 円 ・委託 39 件 75,237,868 円 ・その他			
評価指標①	開館日数 (13 館合計)		3,881 日 (前年度 3,836 日)	
評価指標②	来館者数 (13 館合計)		284,867 人 (前年度 318,432 人)	
評価結果及び 今後の方向性	市全体として、施設の維持修繕についての指針が立てられていない。修繕が遅れることにより、建物の寿命・安全性に悪影響を及ぼす傾向がある。構造別に主要箇所・設備の更新(修繕)サイクルの指針(基準)を定め、建築から解体まで計画的に維持管理を行う必要がある。			

事業名	公民館大規模改修事業		担当課	公民館
事業費	前年度決算額	20 年度決算額		今年度予算額
	11,025 千円	7,243 千円		48,600 千円
評価年度 事業内容	橘賀台公民館大規模改修事業 ・屋上防水工事 3,932,250 円 下総公民館大規模改修事業 ・大規模改修工事設計委託 1,564,500 円 豊住公民館大規模改修事業 ・PAS 設置工事設計委託 276,150 円 ・外壁タイル調査設計委託 1,470,000 円			
評価指標①	工事件数		1 件 (前年度 1 件)	
評価結果及び 今後の方向性	多くの施設が建設から 20 年以上を経過し老朽化による不具合の発生している状況であるため、継続して大規模改修を実施する必要がある。			

事業名	国際文化会館管理運営事業		担当課	生涯学習課
事業費	前年度決算額	20 年度決算額		今年度予算額
	145,744 千円	143,770 千円		138,596 千円
評価年度 事業内容	財団法人成田市教育文化振興財団を指定管理者とし、国際文化会館管理運営の委託を実施した。			
評価指標①	延べ開館日数		305 日 (前年度 302 日)	
評価指標②	延べ利用者数		185,799 人 (前年度 180,648 人)	
評価結果及び 今後の方向性	市民が地域文化を愛し、次代を担う心豊かな人材を育む生涯学習施設である成田国際文化会館の管理運営は、今後も適切に行う必要があるため、本事業を維持継続していく必要がある。			

事業名	各種大会教室等の開催事業	担当課	生涯スポーツ課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	今年度予算額
	2,410千円	2,335千円	2,135千円
評価年度 事業内容	<p>自主的なスポーツ活動を促進し、市民の幅広い交流を進め、健康で活力に満ちた豊かな生活をおくるためのスポーツ振興を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成田POPラン大会（11月2日実施、参加者4,107人） ・近隣中学校野球大会（4月19・20・26日実施、参加者17チーム） ・小学生相撲大会（9月23日実施、団体戦7チーム、個人戦131名参加） ・スポーツ教室（中学生卓球教室）（3月8日実施、参加者86名） 		
評価指標①	大会・教室開催数	4回（前年度4回）	
評価指標②	参加者数	4,664人（前年度3,666人）	
評価結果及び 今後の方向性	<p>「スポーツ健康都市宣言」の理念にのっとり、市民のスポーツ活動や健康づくり及び市民相互の親睦や交流のための地域に根ざしたスポーツ活動を促進する必要がある。スポーツに造詣の深い方に講演会、講習会、教室開催依頼・委託するなど、だれもが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに努める。</p>		

事業名	スポーツ広場等整備事業	担当課	生涯スポーツ課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	今年度予算額
	53,633千円	12,184千円	159,716千円
評価年度 事業内容	<p>市民の健康増進及びスポーツ活動の促進を図るため、スポーツ広場を整備する。</p>		
評価指標①	新規整備箇所数	1箇所（前年度1箇所）	
評価指標②	改修整備箇所数	なし（前年度なし）	
評価結果及び 今後の方向性	<p>市民が生涯にわたって活発にスポーツ活動を行うことができるよう、地域のスポーツ環境の整備を推進する。今後は1地区1スポーツ広場設置の趣旨から、NTスポーツ広場、公津スポーツ広場、成田スポーツ広場等の整備が緊急の課題となっており事業を拡大していかなければならないと考える。</p>		

事業名	健康づくり運動「健康ちば21」推進事業	担当課	生涯スポーツ課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	今年度予算額
	5,204千円	5,537千円	5,247千円
評価年度 事業内容	<p>市民スポーツの祭典として、市民運動会を開催し、健康増進、市民相互の親睦を図った。また、健康ちば推進員連協の行う各種事業に助成し、市民の健康づくり・体力づくりに寄与した。</p>		
評価指標①	運動会関連事業実施回数	4回（前年度3回）	
評価指標②	参加者数	10,100人（前年度10,199人）	
評価結果及び 今後の方向性	<p>本市のスポーツ振興の指針となる成田市生涯スポーツマスタープランの基本理念を具体化させるには必要な事業。特に、「市民誰もが参加できる」「交流の促進」の実現に大きく貢献している。</p> <p>競技場所等のハード面を考えると事業拡大は困難。</p>		

事業名	運動公園管理事業	担当課	生涯スポーツ課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	今年度予算額
	173,508千円	176,206千円	175,457千円
評価年度 事業内容	市民の健康増進及び憩いの場・スポーツ拠点施設である中台運動公園、大谷津運動公園、下総運動公園の管理運営をする。		
評価指標①	年間利用可能日数（中台、大谷津）	364日（前年度364日）	
評価指標②	年間利用者数（中台、大谷津）	388,344人（前年度374,569人）	
評価結果及び 今後の方向性	市民がスポーツを通じて健康の保持増進を図ることのできる環境を整えるため維持継続したい。		

事業名	野球場整備事業	担当課	生涯スポーツ課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	今年度予算額
	20,146千円	444,206千円	1,187,000千円
評価年度 事業内容	スポーツレクリエーション活動の場として、大栄地区に野球場を整備する。 20年度は用地購入を行った。		
評価指標①	整備箇所数	1箇所（前年度1箇所）	
評価結果及び 今後の方向性	2010年に開催されるゆめ半島ちば国体の会場となっており、その整備は急務である。		

事業名	パークゴルフ場管理運営事業	担当課	生涯スポーツ課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	今年度予算額
	0千円	12,883千円	16,931千円
評価年度 事業内容	利用者が安全で快適なパークゴルフが行えるよう施設の運営管理を行った。 ※平成20年度から空港地域振興課より管理を移管。		
評価指標①	年間利用日数	212日（前年度なし）	
評価指標②	年間利用者数	3,251人（前年度なし）	
評価結果及び 今後の方向性	空港騒音下の土地の有効利用のため、新たなパークゴルフ場建設も実施しており、更なるパークゴルフの普及とスポーツ振興の発展に資するため、拡大としたい。		

事業名	(仮称) 畑ヶ田多目的スポーツ広場整備事業	担当課	生涯スポーツ課
事業費	前年度決算額	20年度決算額	
	0千円	4,095千円	今年度予算額 21,000千円
評価年度 事業内容	市民がいつでも気軽にスポーツレクリエーションを楽しむことができる広場を整備するため、基本計画を策定した。		
評価指標①	整備箇所数	1箇所（前年度なし）	
評価結果及び 今後の方向性	地域と空港が共生するまちづくりの一環として、空港周辺に地域の活性化に資するスポーツレクリエーション施設等の環境整備を図りながら地域振興を推進するとの計画の中で身近な活動場所として多くの市民から強い要望がある多目的スポーツ広場の整備を進めていく。		

その他の事業

- ・ 青少年劇場開催事業（生涯学習課）
- ・ 公民館まつり事業（公民館）
- ・ 市民文化祭開催事業（生涯学習課）
- ・ 文化振興マスタープラン策定事業（生涯学習課）
- ・ 市民活動支援サイト運営事業（生涯学習課）
- ・ 公民館だより発行事業（公民館）
- ・ 国際文化会館施設整備事業（生涯学習課）
- ・ 生涯学習人材活用事業（生涯学習課）
- ・ 社会教育団体活動育成事業（生涯学習課）
- ・ 視聴覚教育研修事業（図書館）
- ・ 文化団体育成事業（生涯学習課）
- ・ 運動公園整備事業（生涯スポーツ課）

ほか